


日本とブルキナファソの架け橋



 西アフリカの内陸に、正直で勤勉、そして争いごとが嫌いな、どこか日本人に似た感情を持っている民族が住んでいる国があります。我々が一番最初にブルキナファソを訪れたとき、人を思いやる心、家族を大切にする心に触れ、一番大事なものを失っていたことに気が付きます。治安は日本以上に良く、風光明媚で、時間がゆっくりと流れているのが肌に感じます。それが「ブルキナファソ」なのです。しかし就学率・識字率は世界最下位（E U世界統計年鑑より）、非識字率が95.0%以上といった村も少なくありません。土地は痩せ、これといった産業もなく、人々は貧困と病気に苦しんでいます。毎年襲いかかる干ばつ、押し寄せるサハラ砂漠、蔓延するマラリアなどの感染症・寄生虫症などで多くの人々が尊い命を落としているのもまた「ブルキナファソ」でもあるのです。村落では、貧困のため未だに基礎医薬品が購入できず、5歳未満の乳幼児死亡率が30%以上に上っている地域も多くあります。

今、ブルキナファソでは、教育、医療、保健衛生、農業、砂漠化防止など多くの分野で、早急に援助の手が必要に迫られております。

日本ブルキナファソ友好協会の沿革

日本ブルキナファソ友好協会（略称JBFA）は、1995年、ブルキナファソにおいて、貧困・病気に苦しむ人々を救済するため、ブルキナファソ政府の要望に応え設立されたN G O（民間活動団体）で「同じ地球の仲間として、私たちにできること！」を合い言葉に、教育・医療・保健衛生・農業の分野で援助活動を続けている、認定N P O法人の団体です。

現在ブルキナファソの農村地域において、小学校・診療所の建設、深井戸の掘削など幅広く援助事業を展開しており、その活動は内外共に高く評価されております。

1995年 7月 1日：横浜市に於いて「日本ブルキナファソ友好協会」を設立

1997年 3月15日：ブルキナファソに「Ouagadougou事務所」を設置

1999年 3月29日：「特定非営利活動法人 日本ブルキナファソ友好協会」として登記
神奈川県で最初のNPO法人

2000年11月14日：在日ブルキナファソ大使館特命全権大使の表敬訪問を受ける

2000年12月 5日：ウエドラオゴ外務大臣、アジア太平洋カリブ局長の表敬訪問を受ける

2001年 9月 1日：主たる事務所を横浜市より千葉県白井市に移転

2002年 3月28日：在日ブルキナファソ大使館特命全権大使の表敬訪問を受ける

2003年 2月16日：ウエドラオゴ情報大臣の表敬訪問を受ける

2003年 6月20日：国税庁長官より「認定NPO法人」の認定を受ける
千葉県で最初、全国で13番目の認定NPO法人

2003年 9月28日：コンパオレ大統領、外務大臣、情報大臣の表敬を受ける



大統領の表敬（国営TVより）